

れは、世界精神と歴史とのヘーゲル的な関係を、因果関係をすりかえてしまうことにならざるをえなかつた。ヘーゲルにたいするこのような誤解と無理解のために、マルクス主義は哲学的には、種々様々な諸要素の内的関連を欠いた羅列になつてしまつた。」(Reval, a. a. O., S. 229.)

(9) 戸坂潤「科学論」、勁草書房『戸坂潤全集』第一巻、一四六―七ページ。

(10) 同右、一五三ページ参照。

(11) 京大『経済論叢』八九巻五号、一〇―一ページ。

共同研究室

昭和四十一年度第一回研究会(五月十三日)

▼テーマ「労働力不足と中小企業の実態」

―近畿地方のケース・スタディを中心として―

報告者 浜崎 正規氏

(報告要旨は資料欄に掲載)